



福良湾海上花火大会

夜空にきらめく大輪の花

8/14(土)

■オープニングイベント

18:15~20:00

(なないろ館前特設ステージにて市民音頭ほか)

■花火打上

20:00~20:30(福良湾周辺)

【駐車場】 福良小学校、南淡中学校、文化体育館

※シャトルバスあり。ただし福良小学校は徒歩



おおつなひき

■大綱曳 14日(土) 14:00~16:30

●場所: 慈眼寺前、東西500m(駐車場は福良小学校)

■盆踊り(阿波踊り)

13日(金) 18:30~

●場所: (東会場) 石川写真館~坂本食堂

(西会場) 波止の浜(駐車場は福良小学校)

『続三原郡史』

地名の由来

その14

郡史の拾い読み 知っておきたい...



阿 万塩屋町 (あましおやまち)

古代製塩が行われた地:

明治十年までの塩屋村に当たる。北から東境を阿万上町・下町・西町に接し、阿万上町から流れる塩屋川が中央部を南流し、河口付近で本庄川と合流して海に注ぐ。村域は、南北に長く、吹上浜、北端は福良湾と両端が海に面する。寛永四年(1627)、塩屋村検地帳がある(『三原郡史』)。「正保国絵図」に村名がみえる。「重修淡路常磐草」に「支

現今中西組を立つと記されている。塩屋の地名の由来は、湯田が多く古代製塩が行われた地とされていることに由る。

阿 万吹上町 (あまふきあげまち)

砂が吹き上げられた地形:

明治十年までの吹上村に当たる。塩屋町の西にある。北の蛇の鱧から押登岬まで南北に延びる海岸線は福良湾に面し、南部の北西約・5kmの砂浜は、紀伊水道を望む。「正保国絵図」に村名がみえる。元禄四年(1691)の「淡国

た土地と考えられる。台風など強い「まぜ(南東風)」によって海浜の砂が吹き上げられた地形に由来する。対岸の鳴門市大毛島海岸にも吹上という小地名がある。

第7編 各説 地名の改変
三原郡の大字と冠称の由来から抜粋
購入希望の人は市長公室へ
園編纂事務局

市長公室 ☎ 43・50002

源として(1)強風をうけやすい地形(2)強風で砂が吹き上げられ

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>
E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

TEL(0799)43-5003 FAX(0799)43-5103